



登ったぞ！3333段

6月1日、2日 1年生が豊野少年自然の家へ宿泊研修に出かけました。目玉はなんと言っても日本一の石段登り。時にはマイペース、時には励ましあいながら登り切りました。

1年生宿泊研修

中尾嶺

第123号

発行

水俣第三

中学校PTA

発行責任者

PTA会長

堀 真哉

発行日

H22.7.16

題字

石段登りは正直千段くらいでバテました。あとの二千段は気合いで登り切りました。結構速い方で、タイムは四十分でした。頂上で食べた弁当がおいしかったです。

キャンドルの集いでろうそくの話を聞きました。ろうそくの炎は、自分の身を削って周りに明かりを灯してくれます。僕も周りに気を配れる優しい人になりたいです。楽しかったです！

松村大地



鹿島維仁

日本一の石段を登りました。なんと三三三三段もありました。最初、僕はトップ辺りにいましたが、飛ばしすぎました。後半には、みんなでソーランを叫びながら登りました。降りる時は楽しかったが、下り終わった時には足ががくがくでした。少年の家に着いて小学生たちとコミュニケーションをとりました。かわいかったです。

蜂楽饅頭

兒玉 志穂

蜂楽饅頭さんで学んだことは「どんな時でも人のことを考えて行動する！」ということです。火傷をしたり、忙しかったりと仕事はとても大変だということが今回の体験でわかりました。



水俣消防署

鬼塚 洸希

この職場で学んだことは大きな声でありさつ・返事をするここと、時間を守ることです。2日間の体験で達成感や喜びを味わうことができとてもよかったです。



平松辰弘さん(農家)

南 雄太

職場体験では玉ねぎの根切りや茎切り、選別の作業を通して玉ねぎの善し悪しを見分けられるようになったのが楽しかった。農業は力のいるところが大変だと思った。



田端 菜

私は職場体験で技術よりも患者さんを思う気持ちの方が大切だということを学びました。また、どんな仕事でも一つ一つ意味があって役に立っている、ということをもっと感じました。



てらさきクリニック

中村 美菜

私はこの職場でどんなことをするにも、相手を自分の家族だと思うと自然に優しい気持ちになるから、そういう気持ちを持って仕事をすることが大切だということを学びました。

2年生職場体験

一期崎量店 鬼塚 旭

僕が職場体験で学んだことは掃除の大切さと障子張りとおすま張りの方法です。とても緊張したけど、お客様に良い物を作るために集中してずれたりしないように気をつけました。



思ったより大変だった！

3年生 さなぶり & 田植え

校区にお住まいの苗床さんのご協力により、今年も三年生が田植え体験をしました。さなぶりの準備をした当日はあいにくの雨で、田植えよりさなぶりが先になってしまいました。翌週雨の合間を縫って無事田植えをすることができました。



苗床さんと♡

保護者のみなさんが心を込めて作りました。



教室でいただきます



「田植え」を終えて

三年二組 原 真奈美

私は田植えをするのが初めてだったので、事前学習の時からすごく興味があって楽しかったです。調べると田植えの方法や種類、さなぶりの内容や意味など、知らなかったことがたくさんあって勉強になったし、おもしろかったです。その後、苗床さんに米の種類や苗について説明していただき、実際に苗を見て本番が楽しみになりました。最初の予定日は雨で中止になりましたが、保護者に準備していただいた赤飯でさなぶりをしました。田植えをしていないので変な感じでしたが、作っていただいた赤飯がすごくおいしくて、みんなで話をしながら食べたのでとても楽しかったです。

二十一日(月)も朝から雨でした。心配しましたが、雨が弱まった時に移動して、苗床さんの話を聞いて作業を始めました。初めての田植えは思っていた以上に足をとられ、バランスもとれないし大変でした。でも後から慣れるとおもしろくなり、友達と話す余裕もできました。とても楽しい田植えになりました。クラス全員で協力し、いい思い出ができました。これから、自分達が植えた苗が成長していくのが楽しみです。

六月二十六日から、中体連の地区大会が行われました。各地で熱戦が繰り広げられました。三中からは、水泳部の村山由華さん、硬式テニス部の深水華梨さん、梨華さん姉妹が県大会へ出場することになりました。

硬式テニス部



環境マイスターの西川さんを講師に迎え、二年生が竹を使ったマイ箸作りに挑戦しました。箸の大きさの竹を紙やすりで削って、自分だけの箸を作りました。

地区懇談会(7/2)

講師の西川さん

今年度は、NTTドコモの方を講師にお招きし、「ケイタイ安全教室」も開催され、年々多機能になり携帯電話を使った犯罪の手口も巧妙化する中、子どもたちをどう守るのか、携帯電話とどうつきあうのか、実際の事例や携帯電話の画面を見ながら、わかりやすく説明されました。その後、各地区に分かれて懇談会。地区ごとの危険箇所や来年度から一中、二中へ通う子どもたちの通学路についてなど、活発な意見が出されました。



水泳部

中体連地区大会

魅せたぞ! 三中魂

どれくらい削る?

俺の箸どう?



箸づくりから「食」を考える
箸づくりから2年生を考える



真剣

本番の様子は次号「中尾領」で

恋龍祭

練習快調!!

